

授業を受ける際の注意点について〈2026A〉

—学生向けガイドライン—

更新日	更新内容
2026 年 9 月 14 日	公開
2026 年 9 月 16 日	【 1-6 教室でオンライン授業を受ける場合に持参が必要な機器 】の内容を修正

目次

授業を受ける際の注意点について〈2026A〉	1
1. オンライン授業を受けるための注意点について	3
【 1-1 授業に必要な機器や準備について 】	3
【 1-2 授業に使用する各種システムについて 】	3
【 1-3 オンライン授業の参加方法について 】	3
【 1-4 オンライン授業を受ける場所について 】	3
【 1-5 オンライン授業の実施形態について 】	4
【 1-6 教室でオンライン授業を受ける場合に持参が必要な機器 】	4
【 1-7 教室でオンライン授業を受ける際の注意事項 】	5
【 1-8 禁止行為について(オンライン授業) 】	6
【 1-9 PC 充電用ロッカーについて 】	6
2. キャンパスで授業を受けるための注意点について	7
【 2-1 対面授業を受講する際の注意点 】	7
【 2-2 禁止行為について(対面授業) 】	7
3. 授業を受けるための注意点について(対面・オンライン共通事項)	8
【 3-1 教員からの連絡(ECCS クラウドメール・UTOL) 】	8
【 3-2 AI ツールの授業における利用について 】	8
【 3-3 授業を欠席する場合 】	9
【 3-4 東京大学情報セキュリティガイドライン(学生用) 】	9

「[2026 年度 A セメスター\(A1 ターム・A2 ターム\)の授業形態について](#)」で通知したとおり、2026 年度 A セメスター(A1 ターム・A2 ターム)では、対面授業を基

本とした授業体制となります。

ただし、学期初めのキャンパス内及び各教室内の混雑を回避するため、2026 年度 A セメスター及び A1 タームについては、第 1 週(10/2～10/8)は、一部の例外科目を除きオンラインで授業を行います。第 1 週授業から対面で行われる科目など詳しくは通知をご確認ください。

1. オンライン授業を受けるための注意点について

【 1-1 授業に必要な機器や準備について 】

2026 年度 S セメスター及び A1 タームの第 1 週(10/2～10/8)授業については、一部の授業がオンラインで行われる予定です。詳細は前述の「[2026 年度 A セメスター\(A1 ターム・A2 ターム\)の授業形態について](#)」をご確認ください。また、例外的に、セメスターを通してオンラインで行われる授業もあります。これらのオンライン授業を受けるには、ノートパソコンや通信環境が必要です。教養学部で授業を受けるために必要な機器やその準備については本学 [utelecon\(ゆーてれこん\)](#) サイト「[大学生活に必要な情報システムの準備について](#)」☐をご確認ください。

【 1-2 授業に使用する各種システムについて 】

東京大学の授業では、UTAS(ゆーたす)、UTOL(ゆーとる、ゆーとーる)、ECCS(いーしーえす)等さまざまな情報システムを使います。[情報システムの総合案内サイト@東京大学「utelecon」](#)☐に情報がまとめられていますので、各自確認し、使用できるようにしておいてください。

【 1-3 オンライン授業の参加方法について 】

オンライン授業は主に Web 会議システムの「[Zoom](#)」☐を使って行われます。各授業の Zoom の URL は UTOL の「オンライン授業情報」欄に記載されています。また、[東京大学オンライン講義検索システム](#)からも確認できます。入手した URL から授業の Zoom ミーティングに入室できない場合は、[こちらのチェック項目](#)☐を確認してください。トラブルが解消されない場合は、担当の教員、またはその授業を開講している学部・研究科等に連絡してください。連絡先がわからない場合は、[utelecon サポート窓口のメールフォーム](#)からご相談ください。

【 1-4 オンライン授業を受ける場所について 】

A セメスター・A1 ターム科目の第 1 週(10/2～10/8)は、指定された教室(UTAS で表示されている教室)または自宅等で受講してください。指定教室で UTokyo Wi-Fi が繋がりにくい場合には、適宜空き教室に移動して構いません。[UTokyo Wi-Fi](#) を利用するためには、事前に [UTokyo Account の多要素認証を有効化](#)した上で、[情報セキュリティ教育の受講](#)を完了し、UTokyo Wi-Fi アカウントを作成しておく必要があります。

・情報セキュリティ教育

<https://univtokyo.sharepoint.com/sites/Security/>

※UTokyo Account によるサインインが必要です。

学期を通じてオンラインで実施される授業については、登校している場合は指定された教室（UTAS で表示されている教室）で受講してください。

駒場Ⅰキャンパス以外で開講される持ち出し専門科目のオンライン授業は、utelecon の[オンライン授業の受講に利用可能な教室情報](#)に掲載の自習室等で受講してください。なお、声出しが可能な教室では、教室にいる他の学生に無関係の授業内容が聞こえないように、イヤホンやヘッドセット等を使用してください。

【 1-5 オンライン授業の実施形態について 】

オンライン授業は、実施方法によって「オンデマンド方式」「コールセンター（CC）方式」「パブリックビューイング（PV）方式」に分類されます。

オンライン授業の実施パターンについて[詳しくはこちら](#)からご確認ください。

【 1-6 教室でオンライン授業を受ける場合に持参が必要な機器 】

キャンパス内でオンライン授業を受ける際には、以下の機器が必要になりますので、必ず持参してください。イヤホン・ヘッドセット等の貸し出しはしておりません。

- PCもしくはタブレットなどオンライン授業を受講するためのデバイス
- イヤホンまたはヘッドホン
- （発言が必要な授業の場合）マイク（PCに内蔵のもの、イヤホンまたはヘッドホンと一体型のヘッドセットでも可）

※授業に必要な機器については【[1-1 授業に必要な機器や準備について](#)】をご参照ください。

【 1-7 教室でオンライン授業を受ける際の注意事項 】

教室内でオンライン授業を履修する場合は、Wi-Fi への負荷を抑制するため、一人で複数の端末を使用しないようにお願いします。また、教室でオンライン授業を受講する際は、必ず UTokyo Wi-Fi を使用してください。個人のモバイル Wi-Fi ルーターやスマートフォンのテザリングは使用しないでください。UTokyo Wi-Fi と干渉し、つながりにくくなります。電波状況が悪い場合は、教室を移動するか、教室内で席を移動してみてください。なお、オンライン授業受講または自習目的以外の教室及び UTokyo Wi-Fi の利用は認めません。

- ・ UTokyo Wi-Fi について(アカウント発行等)

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_wifi/

- ・ UTokyo Wi-Fi トラブルシューティング

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_wifi/trouble_shooting/ 

- ・ utelecon サポート窓口

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/support/>

教室内のコンセントは空いているタップの差込口のみ利用してください。キャップをはめ込んである差込口は使用不可です。また、OA タップを持参するなどして電源をさらに分岐させることは禁止します。最悪の場合、複数の教室の電源ブレーカーが落ちて停電になったり、コンセントが発火して火事を引き起こしたりします。

各教室では機械換気によって厚労省ガイドラインで必要とされる換気量は確保されていますが、適宜換気を行ってください。室内の換気扇のスイッチは切らないようにしてください。

昼食は生協食堂やキャンパス内のベンチのほか、教室(21KOMCEE East/West・10号館・情報教育棟を除く)内ですべてかまいません。

【 1-8 禁止行為について(オンライン授業) 】

オンライン授業の受講に際し、次の行為は禁止されています。該当する行為があると認められた場合、法的責任を問われることや、『履修の手引き』の「不正行為について」に記載されている措置に準じたペナルティが課せられることがありますので、充分に留意してください。

- オンライン授業に係る URL (Zoom リンク等) を学外者に漏洩する。
- 授業の録画及び録音 (教員が許可する場合を除く)。
- 「教員の許可のもとで録画・録音した授業データ」を本人以外に渡す、もしくは本人以外が見られる状態にする。
- 教員から共有された授業の録画・録音を本人以外に渡す、もしくは本人以外が見られる状態にする。
- 授業に使用した著作物 (教科書、参考資料、スライド等) を教員の許可なく本人以外に渡す、もしくは本人以外が見られる状態にする。

(参考) 授業の受講に関する注意 (2026 年度学部ガイダンス資料抜粋)

https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/jikanwari/2026S/2026academic_misconduct.pdf

『履修の手引き』の「Ⅲ 2. 授業受講に関する諸注意」や「Ⅳ 1. 定期試験・レポート (4) 不正行為について」にも授業や試験に関する注意事項が掲載されていますので、必ず確認しておくようにしてください。

【 1-9 PC 充電用ロッカーについて 】

オンライン授業のために持参したデバイスの充電用に、1号館2か所、7号館1か所、各20 扉分 (1号館1階のみ40扉) のPC 充電用ロッカーを設置しています。数に限りがあるので譲り合って使用するようにしてください。

- PC 充電用ロッカーの利用手順

https://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/news/kyoumu/PC_locker_manual2020A.pdf

2. キャンパスで授業を受けるための注意点について

【 2-1 対面授業を受講する際の注意点 】

感染症等の予防に努め、健康管理上不安なことなどがありましたら、保健・健康推進本部（保健センター）に相談してください。

▶感染症に関すること、体調が悪いときの相談先

駒場保健センター内科： 03-5454-6168

【 2-2 禁止行為について（対面授業） 】

授業の受講に際し、次の行為は禁止されています。法的責任を問われかねない行為ですので、十分に留意してください。

- 授業の撮影（動画・静止画）及び録音（教員が許可する場合を除く）。
- 授業中に撮影や録音したものをインターネット上等で公開すること。
- 本学で編纂した教科書（その翻訳を含む）、過去の試験問題、シラバス、スライド、参考資料などの著作物を、著作者の許可なくインターネット上等で公開すること。

詳細については、『履修の手引き』の「Ⅲ 2.授業受講に関する諸注意」や「Ⅳ 1. 定期試験・レポート（4）不正行為について」を参照してください。

（参考）授業の受講に関する注意（2026年度学部ガイダンス資料抜粋）

https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/jikanwari/2026S/2026academic_misconduct.pdf

3. 授業を受けるための注意点について(対面・オンライン共通事項)

【 3-1 教員からの連絡(ECCS クラウドメール・UTOL) 】

授業を実施するに当たり、本学の ECCS クラウドメール(「・・・@g.ecc.u-tokyo.ac.jp」)のアドレスに、授業担当教員から諸連絡が届く場合があります(授業担当教員は履修者のクラウドメールのエイリアスが把握できるようになっています)。必要なメールを見落としていないか、学期中は常時確認するようにしてください。

UTOL の「お知らせ」を利用して授業担当教員から諸連絡が届く場合もあります。授業終了後も提出物等に関して教員が連絡をする場合があるので、学期中はどちらも定期的に確認するようにしてください。

【 3-2 AI ツールの授業における利用について 】

ChatGPTをはじめとした生成系 AI ツールの授業における利用についての本学の方針※については、「[東京大学の学生の皆さんへ：AI ツールの授業における利用について\(ver. 1.0\)\(2023.5.26\)](#)」を確認してください。(※今後適宜アップデートされる可能性があります。)生成系 AI ツールの長所短所を理解した上で、適切な活用を心掛けてください。

- ・東京大学の学生の皆さんへ：AI ツールの授業における利用について(ver. 1.0)(2023.5.26)

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/docs/ai-tools-in-classes-students>

- ・生成 AI(ChatGPT 等)関連情報

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/online/topics/generative-ai>

【 3-3 授業を欠席する場合 】

新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザに罹患した場合等、体調が優れない場合は大学に登校せず適宜自宅等で療養することを推奨します。前期課程には出席停止や忌引き等公欠の制度はありません。授業を欠席する場合は、必要に応じて事前に各授業担当教員に連絡し、教員からの指示に従ってください。

大学において単位を修得するためには規定の学修時間が必要とされています。出席できなかった授業については、自学自習や教員や友人にフォローを求めることで、欠席分の学修を取り返す努力をするようにしてください。教養学部においては、授業担当教員が配慮することを求めています。一方で配慮することを妨げてはいませんので、授業担当教員の判断に基づき配慮が行われることもあります。

【 3-4 東京大学情報セキュリティガイドライン(学生用) 】

東京大学で生じた情報セキュリティに関わる問題は学生個人の責任では済みません。もし、問題が生じた場合は、東京大学としても組織的な対応と責任が求められます。同様に、問題を予防するセキュリティ対策の実施も、自己責任ではなく、大学の構成員として求められる義務であると認識してください。不注意によるミスで情報漏洩やサイバー攻撃の被害を受けないよう、情報セキュリティに関する注意事項と対策をまとめた「[東京大学情報セキュリティガイドライン\(学生用\)](https://univtokyo.sharepoint.com/sites/Security/SitePages/guideline_students.aspx)」をご一読ください。そして、常日頃からセキュリティ対策を意識しながら、プライベートや学生生活を安全に過ごしてください。

・東京大学情報セキュリティガイドライン(学生用)

https://univtokyo.sharepoint.com/sites/Security/SitePages/guideline_students.aspx

※アクセスには UTokyo Account によるサインインが必要です。

以上

教養学部等教務課前期課程チーム